

# スペイン写真会議参加報告

## SPM 2016 in Spain

村瀬健志 (MURASE, takeshi 山口大学洞穴研究会 山口県在住)

2016年の国際洞窟写真家会議(開催地:スペイン)に参加した様子を山口大学洞穴研究会の村瀬健志が日記形式で報告する。

枯れ池 / Fentemolinos

私は9月4日から11日までスペイン北部のブルゴスで開催される洞窟写真会合にアシスタントとして参加しました。今回は東京スペレオクラブの会員3名と一緒に参加しました。この会議には、後藤さんに海外の洞窟に言ってみたくと話したところ、じゃあスペイン行く?と言われたので二つ返事で即決したのが参加したきっかけです。ケイビングジャーナルに記事を投稿したりするのは初めてで不慣れなものですから行程を追っていきながら活動を振り返っていきこうと思います。

### ～SPM2016について～

この会議は Espeleophoto というスペインの洞窟写真家のチームが企画したもので、世界中から写真家が集まってスペインの洞窟に入って写真を撮りながら交流することを主に目的としていたようでした。2年に1回開催されている International Cave Photographers Meeting とは違うものです。今回は世界各国から14か国の写真家が集まる予定でしたが、中東の国の人たちはビザの都合などで残念ながら参加できなかったようです。実際には11か国から写真家たちが集まりました。

### 8月31日～9月3日

9月3日までは山口から東京への移動、そして東京からスペインのマドリードまでの移動日でした。羽田へは22

時ごろに着いたのですが、東スベの田島君の家の泊まらせてもらいました。翌日の23時のフライトで初の国際線にわくわくしながら日本を離れ、ドーハ経由で、マドリードには昼に着きました。そこからアウトドア用品店で各々ギアやロープを買ったり、王宮を見に行ったり観光をしました。実はヨーロッパの建築というより食事を一番楽しみにしていたのですが、期待通りおいしいものばかりで口に合わないものはまったくありませんでした。ただ、観光地価格というかそういう立地のレストランのものは少々価格が高かったように思います。昼食は3人で60ユーロ以上(日本円でだいたい7000円くらい)かかったような記憶があります。特にイベリコ豚のハムはおいしいのですが20ユーロ近くするのであまりお勧めできません・・・。

### 9月4日

この日はマドリードから会場があるブルゴス県のサンシーロという村までの移動日で会場についてからオープニングセレモニーがありました。時間的に余裕があったので朝9時頃にタクシーで空港まで行き、レンタカーを借りてブルゴスに向かいました。ちなみに、滞在中はすべて後藤さんが運転してくれました。(後藤さんの受難は後程。)マドリードからブルゴスの中心街までは3時間、そこからサンシーロまで1時間かかりました。昼食は小さな集落の中のレストランのパエリアで済ませましたが、英語が全